

# 天気晴朗 なれど 波高し

西田 雅昭  
NISHIDA, Masaaki



Illustration : Toshiyuki Ido

Visual Basic .NET 奮戦記

最終回

新しいVisual Basic -その2-

我輩の名前は「頑固一徹」、もう10年以上Visual Basicでプログラムを書いてきたベテランプログラマだ。

先月はVisual Basic 2005 Express Editionを利用して、新しいVisual Basicを試してみた。驚いたことに、我輩たち、VB6のエキスパートにとって、VB.NETよりはるかに使いやすい。今回は引き続きVisual Basic 2005で変わった点やExpress Editionの注意点について見てみよう。



## プロジェクトをいつ保存するか？

Visual Basic 2005 (以下VB2005) の開発環境は、好きなようにカスタマイズできるのが特徴である。まさに我輩好みなのだ。

Visual Basic 2005 Express Edition (以下VB2005 Express) で試してみよう。開発環境を設定するには、メニューから、

[ツール] - [オプション]

と選択すると開く「オプション」ダイアログボックスを使う。

まず最初に、「プロジェクト作成時に保存するかどうか」を見てみよう。

左側のツリービューで、

[プロジェクトおよびソリューション] - [全般]

と選択する (図1)。

Express Editionの場合は、左下に「すべての設定を表示」チェックボックスがあるので、これをチェックしておく、いろいろな機能を見ることができる。

考えてみると、プロジェクトを作り始める際に、ファイルを保存するかどうかは、仕事の内容による。

現在のところ、面白がって、いろいろ実験を行なっているのだから、いちいちファイルを保存しないほうが便利である。後に残す必要のない実験の場合には、破棄することができるからである。

VB2005 Expressでは、実際に「ビルド」して実行し、最後に「プロジェクトを閉じる」を選択した際に、図2のダイアログボックスが現われる。ここで[破棄]を選択すると、ファイルは残らないようである。それにしても、初めて保存する場合でも、[上書き保存]とは、マイクロソフトも手抜きをするものだ。

プロジェクトを作成した段階で自動

レベル >>> Level

1 2 3 4 5

言語 >>> Language

Visual Basic

ツール >>> Tool

Visual Studio 2005 Express  
Visual Studio 2005 Professional



頑固一徹の

# 天気晴朗なれど波高し

図1：プロジェクト作成時にファイルを保存するかどうかの設定

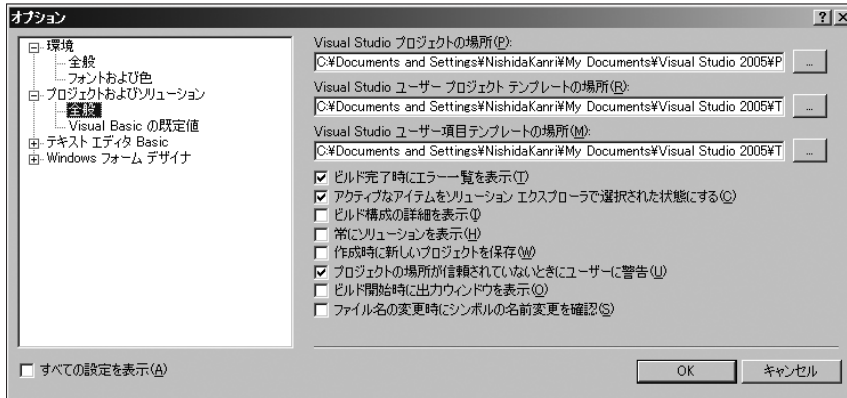


図2：プロジェクトの変更を反映するかどうかの確認

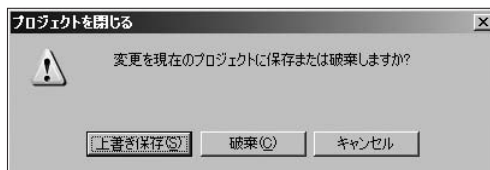


図3：自動バックアップの設定



図4：Option Strict設定



保存したい場合には、図1の「オプション」ダイアログボックスで、「作成時に新しいプロジェクトを保存」チェックボックスをチェックすればよい。

実際に開発を行なう場合には、このチェックボックスをチェックして、作成時に保存してしまうほうがよいだろう。この場合は、一番上の「Visual Studioプロジェクトの場所」ボックスで、デフォルトの格納場所を自分で決めておくと、ソースの管理が楽になる。

同時に、「オプション」ダイアログボックスの左側のツリービューで、

[環境] - [自動バックアップ]

と選択して、「何分ごとにバックアップを取るか」「バックアップを何日間保存するか」を設定しておく(図3)と、思わぬ事故を防ぐことができる。

## Option Strictについて

我輩は、デバッグの時間を減少させたいので、暗黙の型変換を許さない「Option Strict On」の設定を行なう主義なのだが、今までのVisual Basicでは、プロジェクトごとに宣言しなければならなかった。

VB2005では、「オプション」ダイアログボックスで、

[プロジェクトおよびソリューション] - [Visual Basicの既定値]

を選択し(図4)、「Option Strict」コンボボックスで「On」を指定する。

これで、プロジェクトが変わるたびに、いちいち宣言する必要がなくなった。